

【23_009技術系メルマガ】トレードノートに何を書く(検証編)

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

この週末は、サロンメンバー(omukuroファーム)との新年会でしたので大阪にいました。

今日このメルマガをお届けするところには、関東に戻ってきているかな？と思います(笑)

相変わらず大阪のメンバーも皆さんエネルギーで、僕も励みを頂きました。またよろしくお願いします。

さて、今日のテーマですが

毎年書いている(笑)モノになりますが『トレードノート』について。

特に去年のメルマガを読んでいた皆さん、ちゃんと継続していますか？(笑)

最近、トレードノートについて「検証と実際のトレードでも書く事って違いますよね？クロさんは何か区別していますか？」

という質問を貰ったので、それに返答する形でお送りしたいと思います。

▼前回予告していたツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1611153997339185154?s=20&t=mp4OiHIF-CdUaeISVo0ZmQ>

今回は(検証編)ということで【007, 008】のメルマガの内容とも関連付けながら

検証・テストを行う過程でどんな事を考え、ノートに記録をまとめているのか整理したいと思います。

■ 検証段階では、結構自由に何でも書こう

はい、結論としては、「こうやって書きましょう」などと限定する事はなく、しいて言えば

『思いつくままどんどん書き込め』です。

検証や、FT5などを使ったシミュレーションテストを行っているときは、実際にトレードをしているのとは少し状況が違います。

端的に言えば

損益に対するプレッシャーが掛かっておらず、どちらかといえばリラックスしている状態で取り組むことになります。

そういう状態の時にこそ、フラットな視点でチャートを観ることができますよね。

そこで僕は、ある『仮組みしたルール・条件』に基づいてデータを集めて行きつつ

その場で気が付いた事を取り留めも無くどんどんメモしていきます。

「〇月×日のこの動き、時々見かける気がするけど、他にも出てくるのかな？」

「このパターンは結構負けやすい気がする」

「結果見送りが増えるけど、この条件はルールから外してはいけない」

これらは、実際にFT5でテストしているときに僕が独りごとのようにメモした記録の一部です。

こんなまとまりのない感じでも、「ノートに書く」という行為がその時の状況の記憶を持続させてくれる

いわば、外部記憶装置のような役割を果たしてくれます。

皆さんもトレードをしていると、「こんなのどうだろうなあ」と思いつくアイデアというのが

ぼつりぼつりと浮かんでくると思います。

前回のメルマガでも書きましたが、そういった思い付きは非常に重要な検証材料なのですが

その場でやっている『最初に決めた検証』をやり切ることが必要です。

なので、そのアイデアはとりあえずノートに書き留めておき、次の検証テーマとして取っておくこと。

そうしないと、折角やっている検証に一貫性が無くなり、使い物にならなくなってしまいます。

検証・テストをしているときは、本当に次から次へと気になる事や、疑問が湧き出てくることが多いです。

そういったアイデア出しも兼ねて、手元のノートを有効に活用し、更に検証する。

このサイクルを循環させられると、1年もそれをやり切った頃には

やる前とはチャートの見方が大きく変わるはずなので、今手もとにノートが無い人は

文房具屋さんに行って白紙のノートを買ってきてください(笑)

では、今日はこの辺で。明日は(トレード記録編)をお送りします。